

令和5年度 学校評価 崇広小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	学校教育目標 「ふるさとを愛し 自ら学び続ける 心優しい崇広っ子の育成」 めざす学校像 安全・安心な学校・信頼される学校・地域とともにある学校
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に学ぶ授業づくりの推進 ・学校内外における安全・安心の推進 ・情報教育の充実

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営 (学校教育目標)	学校教育目標の達成に向け、教職員が一丸となり取り組めたか。	A	コロナ前に作成したたんばふるさと学のカリキュラムを再度見直し、各学年で実施していく。自分の目標を持ち前向きな姿勢で学びに向かっていると感じている児童は増えているが、保護者の目からは宿題以外の家庭学習に課題があると指摘されている。積極的に自主学習ノートを活用し、個別に必要な学習を宿題プラスワンで家庭学習において進められるように校内の研究推進チームと連携し、推進していきたい。人に優しくできていると感じている児童は多い。一方で教職員側は自尊感情を高めることを意識して取り組んでいるが、周囲が思うほど児童の中では自尊感情は高まっていないと感じている。今後もいいところ見つけなどの友だちからの評価、道徳を中心に自分の良さを見つける活動を継続しつつ、教科学習において「わかる」「できる」を増やすこと、児童の良い行動を褒め、価値づけることを通して児童一人ひとりに自信をもたせる。さらに、誰かのために役立っているという自己有用感を高めていくことで、自尊感情を育てていきたい。
教育課程	教科・学習指導 (研究)	児童も教師もわくわくする授業づくりに取り組み、児童一人ひとりが意欲的に学びに向かうことができたか。	A	授業においては、自ら目標を持ち、粘り強く問題解決に向けて、友だちと協力しながら前向きな姿勢で学習に取り組む児童が増えてきている。教職員自身も児童がわくわくしながら前向きに学習参加できるような学習教材を設定しようと日々教材研究に取り組んでいる。それにより、授業が楽しいと感じている児童も増えてきている。今後も児童がわくわくできる授業づくりを目指し、研究推進チームが中心となって教職員間で授業づくりのポイントを共通理解しながら取り組んでいきたい。家庭学習については、宿題は頑張っているが、それ以外はまだ十分に組み立てていない現状がある。予習や復習、テスト対策、調べ学習など自主学習ノートを効果的に活用することで、家庭学習を充実させていきたい。また、児童のモチベーションを高めるためにも、良い学び方やノートづくりができていた児童の紹介や、その児童を褒めることで価値づけしていくことにも取り組んでいく。
課題教育	情報教育	効果的にタブレットを活用した授業づくりに取り組んだり、日常的に学校活動においてタブレットを活用したりすることができたか。	B	児童が楽しんでタブレットを学びに活用している現状が見られる。児童のタイピングスキルも向上しているように感じている。授業において児童はタブレットドリルや調べ学習、スライドにまとめる学習、総合的な学習の時間での発表時にタブレットをよく活用している。教師側も教材提示や動画の視聴等で日常的にタブレットを活用する習慣ができてきている。しかし、まだ有効にタブレットを活用できていない、限定的な活用になっていると感じている教員もいる。そこで、本年度教科等でのタブレット活用の計画を作成したので、それを各学年で確実に実施していく。授業外での活用については、学校行事や委員会活動などの特別活動において、アンケートや情報伝達の手段としての活用、タブレットを利用したゲームなどを企画することで児童が活用できる環境を整えていく。また、もっと幅広くタブレットを活用させたいがルールを守れない児童の中には見られる。カリキュラムを見直し、低学年から段階的な情報モラル指導を継続的に行い、モラル意識を高めていく。

3 学校関係者評価

- ・先生方は日頃から頑張っておられる。負担にならないように引き続き業務改善に努めていただきたい。
- ・学校全体で児童を褒めて意欲を延ばしていることを感じる。児童の学習意欲や学習習慣についても、家庭との協力を得ながら今後とも取り組んでほしい。
- ・児童にはタブレットの活用能力が高まっているが、文章を書く力が弱い。読書活動やPTAによる読み聞かせ活動、読書後に一言感想を書くなど活字に慣れることも図っていただきたい。
- ・各領域の取組については評価できる。

4 次年度の改善の方向性

本年度も、学校教育目標「ふるさとを愛し自ら学び続ける心優しい崇広っ子の育成」を掲げ、崇広小学校運営協議会と連携しながら、学校支援ボランティアの拡充を図る等、地域と連携しながら組織的に学校運営を行ってきた。

次年度も引き続き、学校運営協議会と連携を深め、地域とともに地域で学ぶふるさと学の充実や「主体的対話的で深い学び」の実現に向け、自ら学び続ける心優しい崇広っ子の育成をめざしていきたい。

令和6年3月22日

学校名 丹波市立崇広小学校

校長名 堀 博文

(行が足りない場合は、適宜増やしてください。)